

普段からお世話になっている地域みなさまに楽しんでもらおうと、私たちの会社で音楽コンサートを開催し、地域の方々をお招きしました。コンサート当日、会社の代表者である社長が、演奏の前に集まったお客様に対して、日頃からお世話になっていることについての感謝を込めた挨拶を述べました。その後コンサートが始まることになりました。挨拶を終えた社長は舞台から降り、観客席の最前列の一番中央に座ってこのコンサートを鑑賞していました。さて、この社長の行動はお客様に対して失礼にはならないでしょうか？ 主催者側の代表者は、舞台のそでに移動するか、観客席に座るにしても、できるだけ後方の席に座るというほうが、お客様に対して失礼にならないのではないかと考えています。

-----ChatGPT による回答-----

ご質問の件について、結論から申し上げますと、

社長が挨拶後に観客席の最前列中央に座ることは、場合によってはお客様に対して「配慮に欠ける」と受け取られる可能性があるため、注意が必要です。

理由：

1. 主役は「お客様」

このコンサートは「地域みなさまに楽しんでもらう」ことが目的であるため、主催者側の代表者が一番目立つ席（最前列の中央）に座るのは、「お客様よりも自分を中心」という印象を与えてしまうことがあります。

2. 視界の妨げになる可能性

舞台に近い席は、出演者との距離が近く、音響や視覚的にも魅力的なポジションです。その「特等席」に主催者が座ると、「なぜ主催者がそこに？」と感じる方もいるでしょう。

3. 一般的な慣習・マナー

イベントやコンサートなどでは、主催者側の関係者（特に代表者）は、舞台袖、または後方・サイドの席に控えるのが一般的です。これは、お客様の満足を第一に考えているという姿勢を表すためです。

より適切な対応の例：

- 社長が挨拶を終えたら、舞台袖やスタッフ席に控える
- どうしても客席で鑑賞する必要がある場合は、**後方もしくは端の席**に座る
- または、お客様をお見送りするために、途中から退出できるよう出入りしやすい席を選ぶ

例外的に最前列が許容されるケース：

- お客様に紹介されており、「来賓」としての扱いが明確な場合（ただし主催者ではなくゲストの立場）
- 招待席の運用があり、あらかじめ最前列が「主催者席」として確保されている場合

まとめ：

今回のように、地域の方々に感謝を込めて開催したコンサートでは、**お客様が主役**です。社長が挨拶の後、最前列中央に座ったことが失礼とまでは断定できませんが、「控えめに振る舞う」という姿勢の方が、より丁寧で誠意ある対応として受け取られやすいでしょう。

必要であれば、今後の運営に向けて「主催者・関係者の席のあり方」について社内でルールを整備することもおすすめします。